



採用案内 Recruiting Information

ひょうごの
農業の“ミライ”を考える。

ひょうごの農業の“ミライ”を考える。



JAグループ兵庫の 総合コンサルティング ファーム



JA兵庫中央会は、兵庫県内にある14のJA（農業協同組合）と4つの連合会を総合的に支援するための機関です。

それぞれが抱えるさまざまな課題を解決することをミッションに、兵庫の農業と地域の発展に貢献しています。たとえば、農畜産物の産地づくりや販売力強化といった「営農支援」から、会計や人事労務に関する諸課題の解決を手助けする「経営相談」、JA役職員の人材育成を支援する「教育事業」、兵庫県の農業・農畜産物やJAの取組みをPRする「広報事業」まで幅広く手掛け、JAグループ兵庫の“総合コンサルティングファーム”として事業を行っています。



経営相談、営農支援、広報で 活躍する若手職員にフォーカス

兵庫県内14のJAを支援するJA兵庫中央会には幅広い仕事があります。若いうちから責任ある仕事に挑む先輩たちに、仕事への向き合い方ややりがい、今後の目標をインタビューしました。

経営相談

JAの課題を見つけ、一歩先を見据えた提案でJAの経営課題解決に向けた支援を行っています。

寺谷一志

JA改革推進部/2015年入会
経済学部卒



私は金融業界を志望して就職活動し、JAバンクの企業研究をする中で本会を知りました。JAからの経営相談や営農支援などさまざまな職種があり、幅広い業務に挑戦できることに惹かれて本会を志望。生まれ育った兵庫の人々の暮らしや農業に貢献できることも入会の決め手でした。

私が所属するJA改革推進部は、JAの経営を幅広く支援するとともに、JAを連携させた新しいビジネスモデル構築の役割を担う部署です。私は現在、但馬地域や北播磨地域などの4つのJAを担当し、各JAの経営課題解決（経営基盤強化）に向けた支援を行っています。大切なのはJAの抱える課題を正確に把握すること。表面的な課題だけでなく、丁寧なヒアリングで隠れた課題を見つけ出すことに注力しています。その上でそれぞれの地域特性を考え、全国のJAの事例も交えながら、先を見据えた解決策を

提案しています。あるJAの直売所では、職員の意識醸成を目的に収支分析のエクセルツールを作成し、経営状況の「見える化」を推進しました。こうした解決策でJAの方から「ありがとう」「助かったよ」の言葉をもらえるのが一番のやりがいです。

本会の業務は本当に幅広く、私も1年目は教育（JAの役職員研修）、2年目からは監査（JAの決算監査）の仕事に携わりました。教育では新入職員を対象とした研修の講師にも挑戦するなど、若いうちから責任ある仕事を任せてもらえるのでモチベーションもアップします。監査から現在の部署に異動した時は仕事内容の違いに戸惑いましたが、さまざまな経験が積めるのが大きなやりがい。今後はJAの経営基盤強化にさらに貢献し、次は営農支援業務にもチャレンジしたいと思います。

JAと一体になって農業者の育成や直売所の運営を支援。農業の未来をつくるやりがいがあります。

井上愛理

営農支援部/2019年入会
商学部卒



生まれも育ちも兵庫県の私。地域密着の企業・団体を志望し、県内のJAを中心に就職活動しました。どのJAも学生にやさしく、人の温かさを感じてとても好感を持ちました。本会は、そんなJAをいろいろな面からサポートする組織。多彩な業務に携われることに加え、大学で学んだ会計や経営マネジメントの知識が生かせると思い入会を決めました。

現在は営農支援部で、農業者の育成や農産物直売所の運営支援に携わっています。昨今、農業者の後継者確保が大きな課題となっており、農業者の減少を食い止めるためのさまざまな施策をJAと一緒に考えています。また直売所の運営支援では、店舗づくりのノウハウを伝えることや、衛生管理や新たな法律への対応支援を行うなど、JAと一緒にしてよりよい店舗づくりを考えています。課題が解決できた時、JAから

「ありがとう」と感謝の言葉をもらえるのがうれしいですね。私は非農家なので最初はわからないことばかりでしたが、上司や先輩に積極的に質問したり、JAを訪問して現場を知ることができました。ただ教えてもらうだけでは身に付きません。最も大切にしているのは、自分で調べて考えることです。わからないなりに自分で調べて答えを探すことで、自分の力となり、知識量が増えることを実感しています。もちろん答えが見つからない難しい課題もありますが、JAや上司と一緒に考え、JAのニーズに沿った答えを出していきたいと思っています。今後は、JAの営農部門の中長期的な経営計画づくりと実践支援など、より経営に近い仕事にも挑戦したいです。将来的には他部門も経験し、本会の中心となってJAの経営支援を行える人材になりたいと思います。

仕事へのこだわり

一日の終わりには必ず仕事の振り返りを行い、翌日のスケジュールを決めています。週に2回ほどは担当JAへの出張があるので優先順位の設定は大切ですね。(寺谷)

誠実さや頑張る姿勢は必ず相手に伝わります。より良い支援のために情報収集を欠かさず、まずは自分の考えを持ち、必ず上司のお墨付きをもらって提案しています。(井上)

たくさん話を聞いて現場を知り、その思いを真っ直ぐに伝えることを大事にしています。常にアンテナを張り、最新の情報をキャッチすることも大切ですね。(平松)

広報誌の記事づくりでJAと生産者の思いを発信。採用活動にも挑戦しています。

平松周也

総務企画部/2020年入会
理学部卒



理学部出身の私は、研究職や工場の品質管理職を目指していました。本会を知ったのは、興味本位で覗いた大学の就活イベントです。そこで「JAのコンサルタント」の業務を知り、一気に惹かれていきました。もともと農業や地産地消に興味があり、JAの問題解決に貢献したいと思って入会を決めました。

1年目は経営相談部に配属されました。ここはJAからさまざまな相談が寄せられる部署。法律や会計に関する相談も多く、専門知識の習得に無我夢中だったことを覚えています。上司や先輩に相談しながら、1件ずつ着実に相談対応を行い、JAの皆さんの前に立って話す経験も積むことができました。チャレンジする機会をたくさんもらえたことが、成長の秘訣だと思います。

現在は、総務企画部で、主に広報業務に携わっています。私が

担当するのはJA役職員向けの月刊広報誌「協同」の制作です。私が担当する特集ページでは、生産者とJA職員がタッグを組んだ多様な営農活動を紹介しており、カメラ片手に各JAに出向いて生産者とJA職員にインタビューし原稿を書いています。心がけているのは、取材先の思いが伝わるような文章をつくること。熱い思いを引き出すために、質問内容をしっかりと準備して取材に臨み、臨機応変に会話を広げることを大切にしています。取材を通して田んぼやハウスなどの栽培現場に入ったり、生産者に直接話が聞けるのが大きなやりがい。完成した広報誌を見ると達成感を感じます。また、今期から採用担当として内定者のフォローや説明会の運営にもチャレンジしています。広報で培ったコミュニケーション能力を生かし、学生の皆さんに本会の魅力をしっかりと伝えたいと思います。

数字でわかるJA兵庫中央会

県内JA組合員数・職員数

本会職員

約**60**人

JA職員

約**7,200**人

JA組合員

約**50**万人

県内JA数

14



※令和3年度末現在

設立・勤務地

設立1954年

68年経過 徒歩**5**分

※令和5年1月現在

本所は元町駅から

兵庫県内での勤務

100%



福利厚生

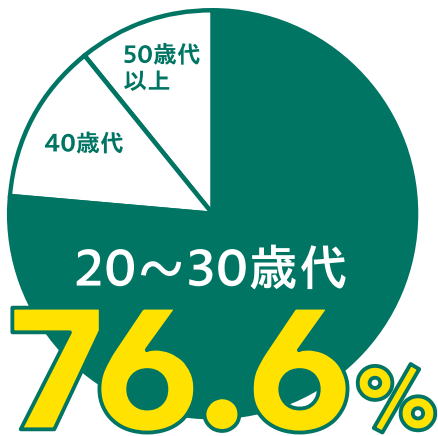
サークル数

4つ

野球、テニス、フットサル、釣り



年齢構成



※令和5年1月現在(正職員総合職のみ)

働き方

1人当たり残業時間

約**3.4**時間/月

※令和3年度実績
(管理職除く総合職のみ)

平均有給休暇取得日数

15.2日

※令和3年度実績(総合職のみ、出向者除く)
※リフレッシュ休暇(5日/年含む)



名称 兵庫県農業協同組合中央会(JA兵庫中央会)
所在地 本所:兵庫県神戸市中央区海岸通1番地
教育部:兵庫県三木市志染町青山7丁目1-4 協同学苑 協同棟 2階
電話番号 078-333-5870(代表)
設立 1954年(昭和29年)